

ごみ減量について

奈良市 環境都市推進部 環境都市推進課

1. 環境清美工場が停止します

令和8年6月1日～

環境清美工場が大規模改修工事のため**停止**

■ 停止期間：令和8年6月～令和8年11月（6か月間）

■ 影響：奈良県内だけでなく、県外も含め奈良市以外の施設でのごみ処理委託（区域外処理）が必要となり処理コストが大幅に増加！

■ 区域外処理費として15億円（予算額）を見込む

2. なぜ今、減量が必要なのか

◆ 委託先の処理能力には限界あり

- ・ 排出量が増えれば、増えるほど委託費用が増加
- ・ 市外受入先の容量制限

◆ 新クリーンセンターの処理規模に直結

- ・ 新クリーンセンターの処理規模を縮小化
- ・ 建設コストの低減
- ・ 施設運営に必要な敷地面積の減少

奈良市のごみ減量目標

令和6年度実績

1人1日当たり：620g

令和13年度目標値

1人1日当たり：586g

1人1日当たり約40gの減量が必要

3. 家庭でできるごみ減量方法

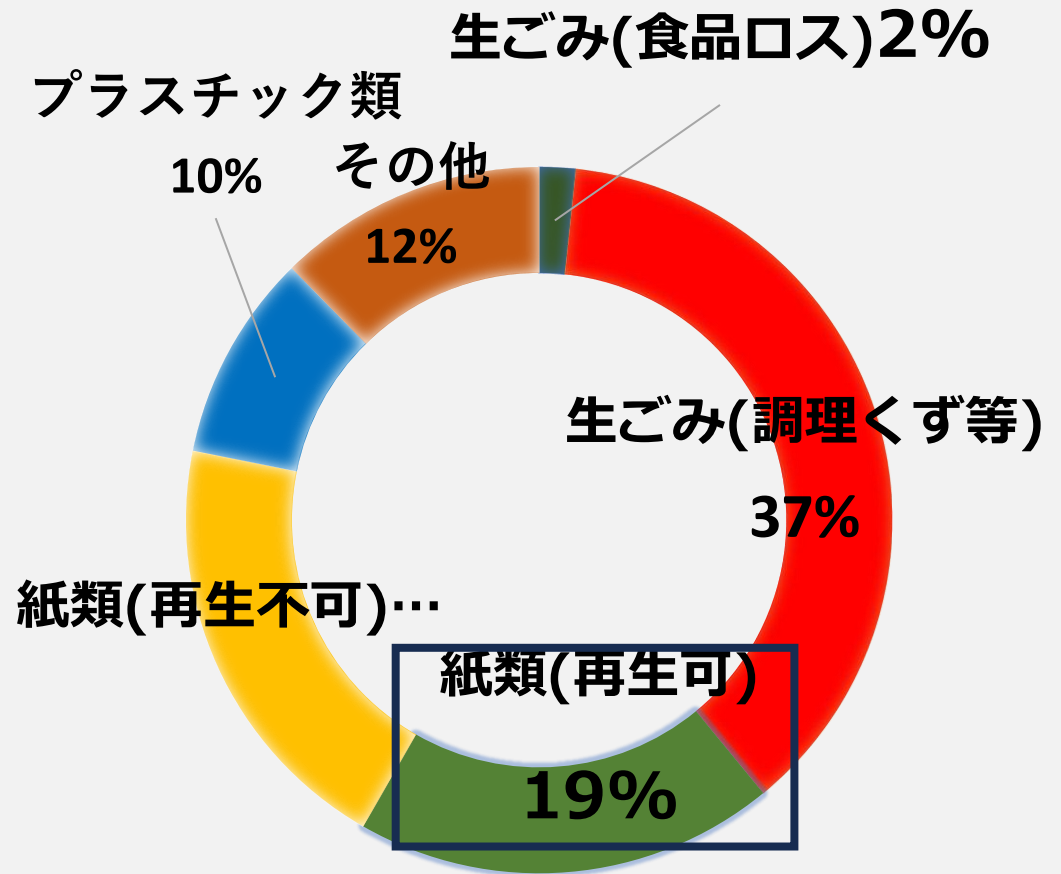
◆再生資源の分別

プラスチック製容器包装、
空き缶、ペットボトル、
空きびん、飲料用紙パック
草木類（令和8年6月から）

◆雑がみの再資源化

チラシ・広告
食品などの箱
トイレットペーパーの芯
パンフレット
包装紙、紙袋

令和6年度家庭系可燃ごみ組成



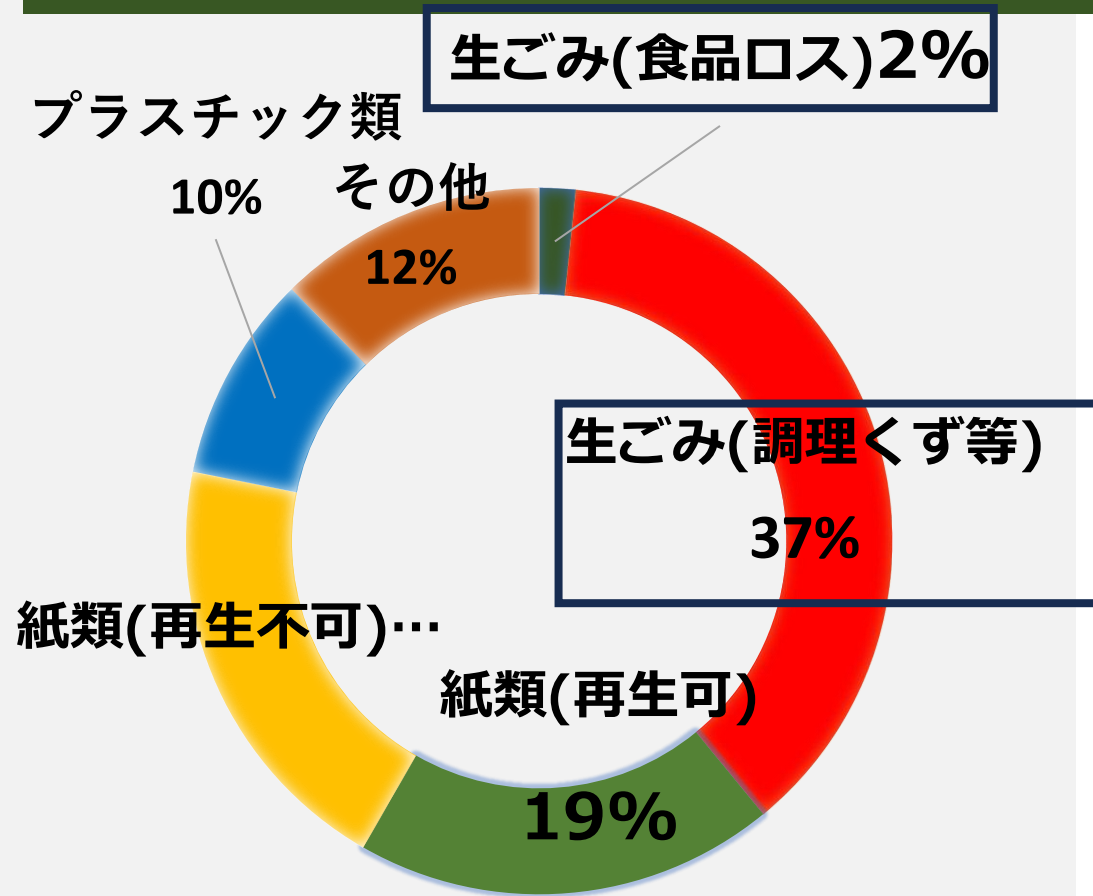
4. ごみ減量の最大の鍵

家庭ごみの約40%は「**生ごみ**」です。

排出量：約4万1千トン
うち、生ごみ：約**1万5千トン**

- ✓ 食品ロスの削減
買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない
- ✓ 「**水分**」を減らす
生ごみは約80%が水分。
水分を減らすことでごみが軽く・少なくなり、ごみ出しの負担が軽減

令和6年度家庭系可燃ごみ組成



5. ごみの軽量化（例：電気式生ごみ処理機）



【使用前383 g】



【使用後43 g】

6. 生ごみ処理機 購入助成金

奈良市では「生ごみの減量化」の推進のために、購入費用の一部を助成しています

■ 電気式生ごみ処理機

購入価格の1/2
(最大30,000円)

■ 生ごみ堆肥化容器

購入価格の2/3
(最大7,000円)

■ 段ボールコンポスト

購入価格の1/2
(最大2,000円)



🔍 奈良市生ごみ処理

検索

7. 生ごみ処理機を用いたシミュレーション

微生物の力で生ごみを効率よく生分解！

投入前



投入



24時間後



7. 生ごみ処理のシミュレーション



**6月1日からの工場停止を
乗り切るためには、
34万人の皆様一人ひとりの
協力が必要です。**

**ごみの減量への取り組みへの
ご協力をお願いします。**